

東京都中学校書写研究会

団体の概要

学習指導要領に示された目標を踏まえ、書写の基礎的・基本的な知識及び技能や態度の育成を図る指導方法の工夫について、研修会を通して研究・実践交流をしている。

研究テーマ

研究主題「書字文化を大切にし、文字感覚を高める書写指導」
テーマ「ICTを活用して文字感覚を高める書写指導」

研究のねらい

ICT活用が効果的な場面を見つけて授業実践することを通して、生徒が書字文化を大切にし、文字感覚を高められるようにする。

研究の内容

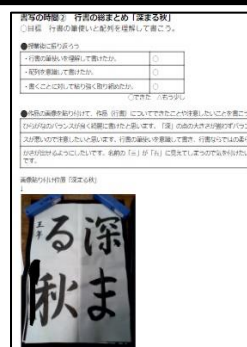
ICT活用のキーワードを

- ①共有する→教師と生徒、生徒同士（画像や動画）
- ②積み上げる→教師と生徒自身（振り返りシート）

『一斉指導から個別最適化へ』

とし、3年生の単元「3年間の学習を生かして効果的に書き、日常生活に生かす」において実践研究を行った。

一人1台端末に配布された筆使い動画を見ながら文字を書き、同様に配布された端末上のワークシートに作品の画像を貼って成果と課題をまとめた（写真）。



研究の成果と課題

【成果】まとめ学習「相手と目的を明確にしてメッセージカードを書こう」では作品をWEB上で鑑賞し合う「展覧会」も開催し、タブレット端末を「共有」のアイテムとして動画や画像を学習に合わせて有効活用できた。また、楽しく作品作りに情報を活用し、振り返りシートに学びを積み上げられた。【課題】「ハイブリットの日常化」のために実物の鑑賞と画像の鑑賞を意識して教師が使い分ける。

今後の活動予定

- ・ 第61回書き初め紙上展
2月 2日 応募締め切り
2月 7日 審査会
3月 12日 表彰式
- ・ 研究紀要 3月発行

代表者・連絡先

代表者：
東村山市立東村山第四中学校 校長 齋藤 健一
連絡先：
台東区立駒形中学校 指導教諭 石津 あや
03(3844)2089 a-ishizu@koumu.taitocity.net

団体名 東京都中学校数学教育研究会

団体の概要

東京都内公立中学校の教員をもって構成する数学教育の研究会です。中学校教育の向上を図ることを目的とし、会員相互の自主と協調のもとに、数学教育全般にわたる研究及び活動を行っています。

研究テーマ

中学校学習指導要領に則した指導の改善

研究テーマに沿って重点的に取り組んだ内容

- ・研究部各委員会による領域等における指導改善の研究発表
- ・指導の改善についての講演会（大学教授による講演）
- ・若手・中堅教員を対象とした指導技術向上研修会（都教職員研修センターと連携した夏季研修）【今年度、集合型研修は中止】
- ・都内全公立中学校を対象とした数学教育に関する意識調査の実施

取組の内容

◎指導技術向上研修会の取組内容について
《動画配信》集合型研修で分科会の講評を依頼していた講師4名の講義を撮影し、受講生に限定公開した。
《指導案助言》受講生が自身の課題に基づいて作成した指導案に、研究部各委員会の委員や本会役員が助言を記入し、都教職員研修センターを通じて本人に返却した。

成果

○集合型研修での講評は限られた短い時間設定であったが、動画配信の形式としたため十分な時間の講義を配信できた。
○指導案の形式、教材観、評価計画や本時の展開など、幅広く丁寧な指導助言を記載し、受講生に伝えることができた。

課題

- 対面での研修ができなかったため、講義や助言を受けた後の受講生の意識に合わせた支援ができなかった。
- 指導案の形式やボリュームが様々で、受講生の授業力や課題意識も捉えにくかったため、助言の内容に配慮を要した。

今後の活動予定

東京都中学校数学教育研究発表大会
日時：令和4年2月19日（土）
午後1時30分より
会場：中野区立中野東中学校

代表者・連絡先

代表者：大田区立糀谷中学校 校長 小島宏一郎
連絡先：台東区立御徒町台東中学校 校長 福沢 俊之
03(3831)3787 t-fukuzawa@koumu.taitocity.net

東京都中学校音楽教育研究会 授業研究部

団体の概要

東京都の中学校音楽科教員の有志が定期的に集まり、年間テーマに基づいた題材の設定や授業検討、模擬授業を通して、東京都をはじめ全国に授業の提案と研究発表を行っています。

研究テーマ

『主体的・創造的に表現・鑑賞し、音楽文化の理解を深める授業を目指して』～鑑賞の授業における、学習指導要領に即した指導と評価の一体化の工夫～

研究テーマに沿って重点的に取り組んだ内容

- ・音楽の多様性を理解し、生活や社会における音楽の意味や役割を考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く授業の開発
- ・音楽文化についての理解を深める授業の提案

取組の内容

世界の舞踊音楽を比較鑑賞しながら、音楽の多様性を理解し、その国の生活や社会における舞踊音楽の意味や役割を考えることによって、音楽文化についての理解を深める授業を開発した。

成果

☆舞踊音楽に合わせて身体を動かすなど、実体験を通して学ぶ授業を開発した。

☆グループ学習を通して、新たな気付きを得たり自分の考えを再構築したり出来るよう、授業の展開を考えた。

☆ワークシートの工夫により、指導と評価の一体化を図ることが出来た。

課題

○授業のねらいに迫る資料の作成と方法は今後も検討が必要である。

○グループ学習が個人の学びを深めるものになるよう、研究を継続する。

今後の活動予定

- ・令和4年2月10日研究発表予定。
- ・総会、地区理事会は年1回開催
- ・専門研修、実技研修は例年5月、8月に開催しています。

代表者・連絡先

代表者：葛飾区立青砥学校
校長 角 康宏

連絡先：世田谷区立芦花中学校
主任教諭 高道 有美子
電話 03-3302-2571

東京都中学校技術・家庭科研究会

団体の概要

研究部、総務部、事業部で組織され、研究部では各領域内容の研究を通して、また、総務部、事業部ではものづくり競技会や作品展の企画・運営を通し、教員の資質向上を目指している。

研究テーマ

よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて生活を工夫し創造する生徒の育成を目指す技術・家庭科教育

研究テーマに沿って重点的に取り組んだ内容

- 1 技術や生活に係る見方・考え方の視点から、生活における問題を見極め、課題を設定し、解決することができる資質・能力を育成することをねらいとして研究を進めた。
- 2 「創造ものづくりフェア in TOKYO」における各種競技会の企画・運営を通して、教員の教科指導力の向上を目指した。

取組の内容

- 1 第60回全日本・関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会東京大会(11月12日)において、全体発表及び技術「エネルギー変換」分科会、家庭「衣住生活」分科会の公開授業及び提案発表をオンラインによるライブ配信で実施。その他の6分科会の授業及び提案発表をオンデマンド配信で実施
- 2 「創造ものづくりフェア in TOKYO」において、木工、ロボットおべんとう、バッグ等ものづくりコンテスト及び作品展の実施(11月20日 創造ものづくりフェア in TOKYO)

成果と課題

【成果】目指す生徒像を実現するために、題材指導計画・評価計画の工夫をしたことにより、生活や社会に関わる問題を見だし、問題解決に臨む生徒や主体的な態度で学習に取り組む生徒が増えた。また、題材の工夫をしたことにより、思考を広げたり、様々な視点から問題を解決しようとする生徒の姿が見られた。

【課題】「思考・判断・表現」を見取る評価の実践事例を重ね、評価についての研究を進めていく。

今後の予定

○令和4年1月22日(土)に全国中学生創造ものづくり教育フェアにおいて、ロボットコンテストの運営を行います。

代表者・連絡先

代表者：
墨田区立墨田中学校 校長 杉浦伸一
連絡先：
台東区立浅草中学校 校長 瀬川真也
03(3866)5169

団体名 東京都中学校英語教育研究会

団体の概要

本研究会は、次の行動目標の下、東京都の中学校英語教育のなお一層の充実と発展を目指して活動するものである。

- ◇ 有能な人材を発掘し、リーダー層の育成を図るとともに、英語教員全体の資質向上を目途とした研修事業を実施する。
- ◇ 英語教育に関わる基礎的事項等についての調査活動を行うとともに、英語教育に関わる今日のかつ実践的な課題についての研究活動を行う。

研究テーマ

「グローバル化に対応した英語教育の実践」

研究の内容

1 各種研修会の開催

(1) 研究部オンライン研修会

8月3日、5日実施。「話すこと(やりとり)」他について、70名を対象としたオンラインによる研修会を行った。

(2) 調査部オンライン研修会

8月20日実施。新学習指導要領に基づく新たなコミュニケーションテスト等について研修会を行った。

(3) 事業部担当「英語学芸大会」の実施

9月上旬から10月上旬にかけてオンラインによる「第74回英語学芸大会」の実施に向けて、事業部員にて研修会を実施した。10月20日から11月20日まで、オンライン上でスピーチ、プレイ等の参加者を募集し、12月中旬に優秀者への表彰を行った。

(4) 出版部10月「都中英研だより」の発行

(5) 全英連、関東ブロック英語教育研究会、大都市公立中学校英語教育研究会との連携

2 コミュニケーションテストの作成とその分析

研究の成果と課題

- コロナ禍において、各部の研修会を充実させることができた。
- オンラインによる、より充実した英語学芸大会を実施することができた。
- 新学習指導要領に基づく指導と評価の研修会を充実させる。
- 特に若手教員の英語授業力を向上させる。

今後の活動予定

- ・機関誌「中英研会報」発行
- ・新観点に基づく「コミュニケーションテスト」作成

代表者・連絡先

代表者： 武蔵野市立第五中学校 校長 刀根 武史
連絡先： 葛飾区立金町中学校 校長 板垣 繁
03(3607)2575 shigeru.itagaki@katsushika.ed.jp

団体名 東京都中学校視聴覚教育研究会

団体の概要

本会は中学校における視聴覚教育、情報教育の研究、調査並びにその普及、促進を図ることを目的として活動している。事業としては、東京都教職員研修センター認定研修会、都中視研研究大会の実施や視聴覚教育全国大会へ参加している。また、日本教育工学協会の団体会員としての活動を通して、最新の情報を収集し、提供している。

研究テーマ

主体的・協働的な学習を支える教育機器の実践活用
～GIGAスクール構想の実現に向けて～

研究の内容

1 研修会の実施

(1) 8月20日(金) 夏季研修会

プログラミング学習とAI学習ソフトの体験、Pages(文書作成ソフト)を使ってポスター作りに挑戦

(2) 12月10日(金) 冬季研修会

東書文庫(教科書図書館)の見学、文科省の動向の講話、デジタル教科書紹介と体験

(3) 12月20日(月) 研究大会 墨田区立錦糸中学校(令和3・4年度東京都情報教育研究校)

研究主題「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」

副題～改訂版対話による授業デザインとICT活用による生徒がわかる授業をめざして～

授業参観(全クラスで実施)、研究協議

講演会(デジタル対話×学習デザイン研修 講師 NEL&M 代表取締役 田中康平氏)

2 研究大会への参加

(1) 11月12日(金) 関東甲信越放送・視聴覚教育研究大会 埼玉大会

(2) 11月19日(金)20日(土) 全日本教育工学研究協議会全国大会 大阪大会

(3) 1月22日(土) 視聴覚教育総合全国大会

都中視研ホームページ URL <https://www.tochushiken.com>

今後の活動予定

- (1) 2月又は3月に事務局会と研修会を予定
- (2) 3月中旬に研究紀要を発行予定
- (3) 8月に夏季研修会を実施予定

代表者・連絡先

代表者：
墨田区立錦糸中学校 校長 和田 浩二
連絡先：
江戸川区立上一色中学校 主任教諭 木村 諭
03(3653)5407 rtkimuraba3@gmail.com